近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報　第 259 号
2026.11.10
各　　位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。
日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。
皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

～～今回お知らせする情報～～

① 農作業安全に関する啓発活動を表彰する「農作業安全表彰」を実施します
② 11 月は「和食月間」、11 月 24 日は「和食の日」！
③ 地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」の認定（令和 8 年度第 2 回）について
④ 京都市の「Restaurant MOTOI」が農福連携サポーターズの最多得票を獲得しました
⑤ 「地域農業を導く伴走支援ウェビナー」の開催について
⑥ 最近の各種統計情報の公表について
⑦ 各種報道発表等
⑧ お知らせ済みの説明会・募集中の取組案内（前回お知らせ分の再掲）
⑨ 注目情報！

□□

① 農作業安全に関する啓発活動を表彰する「農作業安全表彰」を実施します

農林水産省は、農業者、農業関係機関が取り組む農作業安全の啓発活動を募集します。優れた取組は、令和 9 年 2 月末頃に開催予定の「農作業安全対策全国推進会議」にて表彰する予定です。

（1）表彰の対象者
ア．農業者または農業者グループ
イ．農業関係機関（地方自治体、農業団体、民間企業またはこれらが連携した協議会等）
ウ．上記に該当しないその他の個人・団体
（2）表彰の対象活動
ア．農業経営者、農作業従事者及びその他の農業関係者に対する研修又は指導
イ．農作業安全に関する情報発信
ウ．上記に該当しない農作業安全に資する啓発活動
応募期限

京都府から農林水産省への応募書類の提出期限は令和 8 年 12 月 11 日（金曜日）です。（京都府担当部署への提出期限については、京都府にお問い合わせください。）

応募方法等の詳細につきましては、表題のリンク先をご覧ください。

【お問合せ先】
農林水産省農産局技術普及課生産資材対策室
担当者：機械・安全ユニット
ダイヤルイン：03-6744-2107

② 11 月は「和食月間」、11 月 24 日は「和食の日」！

「いい（11）に（2）ほんしょ（4）く」と読む語呂合わせから、一般社団法人和食文化国民会議が制定した、「和食の日」（11 月 24 日）を含む 11 月は「和食月間」です。

農林水産省では、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「和食」を次世代へ継承するため、幅広い世代が和食について知る機会や食べる機会を増やすための活動を進めています。

「和食月間」の取組をまとめたウェブサイトでは、各種取組の案内のほか、自由にお使いいただける和食のポスターや和食普及プロジェクト「楽しもう！にほんの味。～和のこころをつなぐ食の国民運動～」の紹介や「うちの郷土料理」「にっぽん伝統食図鑑」データベースの案内もしています。

詳しくは表題のリンク先並びに以下のリンク先をご覧ください。

和食月間：農林水産省

【お問合せ先】
農林水産省新事業・食品産業部外食・食文化課食文化室
担当者：和食保護推進チーム
ダイヤルイン：03-3502-5516

③ 地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」の認定（令和 8 年度第 2 回）について

我が国では、2023 年 3 月に改定を行った「生物多様性国家戦略」において、生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現に向けて、2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標（30by30 目標）を位置付けています。

ネイチャーポジティブの実現に向け、企業等による地域における生物多様性の増進のための活動の計画を認定しているところですが、令和 8 年 6 月の第 1 回認定に引き続き、令和 8 年度の第 2 回として、116 か所の「増進活動実施計画」（35 都道府県）及び 6 か所の「連携増進活動実施計画」（6 道県）を認定しました。

このうち京都府内で認定された計画は以下の 8 ヵ所です。（〇計画名　□申請者）
〇樹木園の生物多様性保全活動　□日本新薬株式会社 山科植物資料館
〇八丁平湿原保全計画　□京都市

○宝が池公園と「法」の山　□京都市／「宝が池の森」保全再生協議会
○川島織物セルコン川島染織の里 保全活動実施計画　□株式会社川島織物セルコン
○城南宮自然共生サイト増進活動実施計画　□城南宮
○真宗本廟（東本願寺）渉成園保全活動実施計画　□宗教法人真宗大谷派
○サントリー天然水の森　きょうと南山城　□サントリーホールディングス株式会社サステナビリティ経営推進本部
○サントリー天然水の森　天王山　□サントリーホールディングス株式会社サステナビリティ経営推進本部

なお、令和 8 年 6 月の第 1 回目で認定された京都府内の計画は以下の 1 ヵ所。
○積水ハウス株式会社 総合住宅研究所及び Tomorrow's LifeMuseum 関西保全活動実施計画
□積水ハウス株式会社

詳細につきましては、表題のリンク先もしくは以下のリンク先をご覧ください。
自然共生サイト｜30by30｜環境省（外部リンク）

【お問合せ先】
農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
担当者：保全対策班
ダイヤルイン：03-6744-2017

④ 京都市の「Restaurant MOTOI」が農福連携サポーターズの最多得票を獲得しました

農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現していく取組です。

このたび「農福連携等応援コンソーシアム」（令和 2 年 3 月設立）が主催し、農福連携等に取り組む事業者に対するサポート等を行う企業・法人等を対象に、「農福連携サポーターズ」の募集を行いました。

応募のあった 18 団体について、コンソーシアム会員による投票を実施した結果、「もっと広げてほしい取組」として最多得票を獲得した「Restaurant MOTOI」（京都府京都市）に感謝状を授与することを決定しました。

取組内容の詳細は以下のリンク先をご覧ください。
農福連携サポーターズ 2026 結果発表（外部リンク）

関連サイト
・「ノウフク・アワード 2026」選定結果及び「農福連携サポーターズ 2026」投票結果を公表しました！：農林水産省
・農福連携等応援コンソーシアム：農林水産省

【お問合せ先】
農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課農福連携推進室
担当者：農福連携企画班
ダイヤルイン：03-3502-0033

⑤ 「地域農業を導く伴走支援ウェビナー」の開催について

今後、農業者の減少が急速に進むと見込まれる中、地域の農業生産を維持していくためには、農業法人等を中心に、離農する経営の受け皿となる経営体や付加価値向上を目指す経営体の役割が益々重要となります。

一方で、そうした経営体は、より高度な経営管理能力が求められることから、関係機関等の連携を通じ、農業者の経営管理能力及び農業者を支援する者の支援能力の向上を促進することを目的に、「農業経営人材育成官民協議会」を設置し、多様な関係者による取組や知識について情報を共有し、連携できる場となるよう、以下のリンク先で随時情報を提供しています。

農業経営人材の育成に向けた官民協議会：農林水産省

今般、農業者の経営課題の解決や経営改善を支援するため、伴走支援の考え方や実践事例を紹介するライブ配信「地域農業を導く伴走支援ウェビナー」の案内が掲載されましたので、ご紹介します。

配信日程：2026 年 12 月 8 日（火）15:00 - 17:00（予定）
配信場所：ライブ配信（zoom ウェビナー）

配信内容の詳細や申込方法等の詳細につきましては、表題のリンク先もしくは以下のリンク先をご覧ください。

「地域農業を導く伴走支援ウェビナー」チラシ（PDF）

【お問合せ先】
農林水産省令和 8 年度経営発展・就農促進委託事業受託先：株式会社 QUICK
TEL：050-1706－3124（平日 9：00～17：00 土日祝日を除く）
MAIL：ds.agri.mgmt.x.ug★quick.jp（左記メールアドレスの★を@に置き換えてください）

⑥ **最近の各種統計情報の公表について**

【年計調査】
・10 月 30 日 令和 7 年産 米生産費（PDF）
・10 月 30 日 令和 7 年漁業経営統計調査結果（PDF）
・10 月 28 日 令和 7 年 生産者の米穀在庫等調査結果（令和 8 年 6 月 30 日現在の在庫量）（PDF）
・10 月 27 日 令和 8 年産「い」の作付面積、収穫量及び畳表生産量（熊本県）（PDF）

統計情報：農林水産省

近畿管内の統計情報については、以下のリンク先をご覧願います。
統計情報：近畿農政局

⑦ **各種報道発表等**

・**11 月 4 日** 「第 13 回“日本の食品”輸出 EXPO WINTER」に日本の米から生まれるフードイノベーションが集結！！：農林水産省
・**11 月 4 日** 令和 8 年秋の叙勲・褒章等（農林水産省関係）について：農林水産省
・**10 月 30 日** 令和 8 年 9 月の米穀流通の動向（集荷、販売、民間在庫）：農林水産省
・**10 月 30 日** 野菜の生育状況及び価格見通し（令和 8 年 11 月）について：農林水産省
・**10 月 30 日** 令和 8 年度我が国周辺水域の水産資源に関する評価結果が公表されました（ベニズワイガニ、ヒラメ、アカガレイ、ソウハチ、ムシガレイ、ニギス）：水産庁
・**10 月 26 日** 第 2 回「食と農をつなぐアワード」受賞者決定：農林水産省

⑧ **お知らせ済みの説明会・募集中の取組案内**

2026 年
・11 月 13 日まで　フードテック官民協議会ビジネスコンテストのエントリー受付中
・11 月 30 日まで　GREEN×EXPO 2027 飲食店と連携した「GREEN TABLE キャンペーン」
・11 月 30 日まで　デジタルスタンプラリー「全国棚田行脚！キャンペーン」
2027 年
・ 4 月 1 日まで　食糧法に基づく新たな米穀等取扱事業の届出

⑨ 注目情報！

☆ 令和 9 年度農林水産予算概算要求について
☆ GREEN×EXPO 2027 開催まで 200 日を切りました！（2027 年 3 月 19 日開幕）
・2027 年国際園芸博覧会記念貨幣を発行します（2026 年 9 月 11 日発表）：農林水産省
☆［農林水産省 白書情報］
・食料・農業・農村白書
・食育白書
・森林・林業白書
・水産白書
・ジュニア農林水産白書
☆ 農林水産省共通申請サービス（eMAFF 申請）：農林水産省

□□

※当メール情報についてのご意見・ご感想や「こんな情報を送ってほしい」などのご要望がございましたら、以下の地方参事官ホットラインまでお気軽にお寄せください。
メール情報の配信停止・配信先変更ご希望の方は、その旨を記載し、このメールに返信願います。

農林水産省近畿農政局地方参事官室（京都府担当）
　地方参事官ホットライン
〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
電話:075-414-9015
　メールアドレス：kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp
□□